

第10回65期テニスの集い (2013年10月26-27日)

上田「香青軒」で開催された還暦記念の同期会を機に始まった 65期硬式テニスの愛好者の集いが、10月26日(土)-27日(日)に秋真っ只中の軽井沢にて開催されました。この会も今回で信州・埼玉合わせて10回目と節目の集まりとなりました。今年も布施修一郎君(6組)が幹事として全面的にアレンジしてくれました。(宿泊:グランドエクシブ軽井沢、テニスコート:ホテル隣接の吉澤学園JNSテニスアカデミー26日屋内コート、27日屋外コート)

常連の牧野泰晴君(1組)、原田義則君(3組)、内堀信君(6組)とご令室、佐藤徹郎君(7組)、中山正光君(11組)、関賢治(2組)、前々回初参加後ロスアンゼルスに転勤しこの10月に日本に戻って来た塩川明男君(6組)に加えて、初参加の長期間オランダに駐在し最近日本勤務となった信州大学在籍中はテニス部で活躍した頼もしい新人の丸山敏明君(11組)、ここ3年間原因不明の痺れでテニスから遠ざかっていたがこのままではイカンと奮起して参加の常連 宮澤憲一君(10組)、27日に飛び入りで参加の常連 尾和三義君(7組)、総勢 12名の参加となり過去最大の参加者と、益々盛り上がっていく集まりとなりました。

台風25号と26号が日本に接近し藤原効果(注1)が心配される中、千葉市在住の牧野君、宮澤君と合流し小雨舞う南浦和駅を出発。高速道路で軽井沢に向かう途中、宮澤君より「我ら団塊の世代もこれからは「教養?(注2)」と「教育?(注3)」が重要になる。」と意味深な言葉を聞き、さてテニスはどちらに入るかと思案しつつ、ホテルで合流した布施君、佐藤君、塩川君、内堀君の7名で屋内テニスコートに向かいました。

雨天を心配して確保した屋内コートでしたが幸いにも台風は関東を大分離れて通過し事なきを得ました。午後4時より3時間プレーを楽しみました。宮澤君は恐る恐るラケットを持ちましたが、直ぐに闘争心が復活し頼もしい限りでした。塩川君も2年振りとは思えないサービスエースがありました。

恒例の四川料理での前夜祭はテニスに参加出来なかった原田君、中山君、丸山君と内堀夫人が合流して開催されました。布施会長の古希までは続けて行きたいとの頼もしい開会挨拶、塩川君の手慣れた乾杯の発声で盛り上がり、美味しい料理と楽しい話題、病歴を織り込んだ近況報告で10時過ぎに閉宴となりました。その後、会場を替えての二次会では、塩川君のコメ生産の日米の比較等を熱く語られたのが心に残っています。恒例の「ためになる」話題で秋の夜を大いに楽しみました。

翌日は台風一過絶好のテニス日和となり、例年とは違うコートで新鮮な気持ちでのプレーが出来ました。午前9時よりウォーミングアップもそこそこに4ゲーム先取の試合でプレーを楽しみました。華麗にゲームを行っていた10数年ぶりにラケットを握った丸山君は太ももに違和感発生、早々のリタイヤーとなってしまいました。そこに突如飛び入りで尾和君登場。昨年の雪辱に皆闘争心を燃やすもあえなく撃沈。しかし、闘争心は掻き立てられるが体力・反射神経は年々如実に衰えるもので、昨年は午後3時まで我先にとコートに入った輩も、体力気力とも衰えたと午後早々に帰宅した佐藤君、明日が心配とホテルの Bath へ直行した宮澤君、丸山君と一人消え二人消え、午後2時過ぎには皆 Bath の中となりました。次回までに体力UPを課しての再会を約し、名残惜しくも解散となりました。

色々手違いがあつたと恐縮していた布施君、十分楽しませて頂きました。肉離れかと心配した丸山君も大事には至らず、宮澤君も特に変調なしとの連絡にホッとしました。尚、次回は来春4月20日(日)に蕨市で開催する予定です。テニス愛好の同期生からの連絡をお待ちしています。

2013.10.30

関(2組)記

写真提供 原田(3組)

(注1)藤原効果:2つの熱帯低気圧が接近した場合、それらが干渉して通常とは異なる複雑な進路をとる現象。(1921年中央気象台所長 藤原咲平氏提唱)

(注2)教養? : 今日、用事がある。(今日用)

(注3)教育? : 今日、行くところがある。(今日行)



前夜祭

後列 内堀夫妻、原田、関、宮澤、牧野
前列 塩川、丸山、布施、佐藤、中山



プレー開始時

後列 丸山、塩川、中山、布施、牧野、関
前列 原田、宮澤、佐藤、内堀



プレー終了時

後列 牧野、宮澤、布施、尾和、中山、塩川
前列 原田、関、内堀